

「三つの幸せ」

学年主任 池浦 文昭 先生



3年生の皆さん、ご卒業おめでとう。先生にとっても、教員生活最後の年だったので、思い出に残る学年となりました。八幡工業を巣立っていく君たちに、一言メッセージを送ります。それが先生の好きな「三つの幸せ」です。一つ目が「もらう幸せ」です。これまでの生活の中で、親、友だち、先生などからいろんなことをしてもらったことで、得られた幸せです。二つ目が「できる幸せ」です。子どもの頃に、縄とびや逆上がりなど、毎日頑張っ...

卒業おめでとう 送る言葉

卒業する君たちへ

二組担任 長井 翔也 先生

振り返ると、実に様々な面子が集まったクラスでした。



卒業おめでとう

一組担任 亀田 徹 先生

充実した学校生活を送れるように、正しい判断基準が身に付くようにと、色々な話をしてきたつもりですが、しっかりと伝えられていたのか、自問自答の日々だったことが思い出されます。この先、「今、どう動くべきか」を問われる時があります。今までは、先生方の指示で、その瞬間の楽しさで動いていたかもしません。でもこれからは、「人として何が正しいのか」を基準に判断してもらいたいと思います。



私と皆さんの年齢差は8歳しかなく、良くも悪くも皆さんにとって「お兄さん」的な存在で、お互いいろんな冗談を言い合ったり、いろんな話を聞いて、笑いあった、そんな時間が私にとっては心地よかったです。改めて、私の初めてのクラス生徒が君たちで本当に良かった。

そんな皆さんも卒業です。今後はいろんな困難があると思いますが、その状況でも、「有り難い」と思ってください。「困難が有る」と書いて、「有り難い」です。困難なことが起きたら、「自分を成長させるチャンスだ」と前向きにとらえてください。皆さんの活躍を期待しています。

卒業おめでとう

三組担任 家高 優 先生



三年間という高校生活も終わり、いよいよ、自分で選んだ道へと旅立つときが来ました。担当した授業では、いつも元気でワイワイ、ガヤガヤ、バタバタと落ち着くことはない様子でした。部活動も引退し、元気が有り余っていたんだと思います。しかし、共に過ごす時間がなくなるにつれ、時に「へえーっっっ」が増えるようになりました。さすが、各運動部で培われてきた精神がしっかりと根付いていると感じました。さて、これからはさらに技術革新が進み、私たちの仕事や生活が大きく変化していくでしょう。しかし、どれだけ技術が発展しても、私たちが持っている美しいと感じる心、素晴らしいと感じる心などを、様々な感性を大切にしたいです。

卒業を迎えて

六組担任 浅居 英雄 先生



が、自分が会社の社長なら中学生の自分と今の自分をどっちを選ぶか考えると成長した自分が分かんないと思ってしまう。普段は気付かない人もいると思えます。見えなところ、周りの人にも支えられている事も知った上で、周りの人にも優しく接し、感謝し、最終的には自分の力でお金を稼ぎ、自分でご飯を食べられるようになってください。そして、未来に向かってより良い人生を送るために、経験を積んで努力を怠らさず、力をつけてください。

「縁」を大切に

五組担任 佐保田 順治 先生



卒業おめでとうございます。就職、進学と新しい環境での出発が間もなく始まるようになっていきます。期待や不安を過度に抱かず、ただ淡々と仕事や勉強に取り組みれば良いスタートが切れると思います。今までは、同年代の人や、地域の人との交流がほとんどでしたが、これからは広い地域から集まったいろいろな年齢の人と付き合っていくことになると思います。「縁」とは、「縁」といいます。「縁」とは、空間(場所)軸と時間軸との交点が奇跡的にその人と一致した時に生まれます。八工に来ていなければ、今の友人と出会っていません。今までも、友人と出会っていません。また、一年早く生まれていても友人は違ったと思います。今いる友人に出会えたことに感謝し、絆を大切に。これから生まれる職場や学校での「縁」も、良い「縁」だと思いたいので、大切にしていきたいです。それが、あなたの信頼を築き、あなたの世界を広げていきます。

輝きを放て

七組担任 山本 敬子 先生



三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。君たちと一日一日をじっくり歩んできたはずなのに、もう、こんなに早く卒業の日を迎えている。そんなふうに今の私は感じています。思い返せば、一年生の十月から君たちの担任として今日までを過ごしてきました。当たり前に言えばそれなのですが、それぞれに超個人的で、クラスをまとめるようとする時は、なかなか苦戦を強いられましたが、二人三脚ではないですが、私も含めての二十人二十一脚の強さと難しさを経験できたクラスでした。私にとって、本当にか(こ)わしいクラスです。(笑) 日直の仕事、清掃活動、部活動、体育祭、文化祭、三年間の場面、場面の中で一人一人の輝きを見いだすことが出来ました。君たちには、それぞれに光り輝くことのできる能力があります。これからは、見いだされるのではなく、自分からその輝きを思いっきり、放つてほしいです。

未来に向かって

四組担任 岩城 博幸 先生



卒業おめでとう。一年でクラス替えをしてから二年半、思い出せば色々なことがあったと思います。二年の文化祭では、自分たちで考えステージを行い、三年の体育祭でも自分たちで踊りを考え、応援練習をしたと思います。自分で行動を起こすことは、大切なことです。自分自身では、力が何もないと思えないと思う人もいます。自分自身で

未来に向かって